

鴻島 NEWS

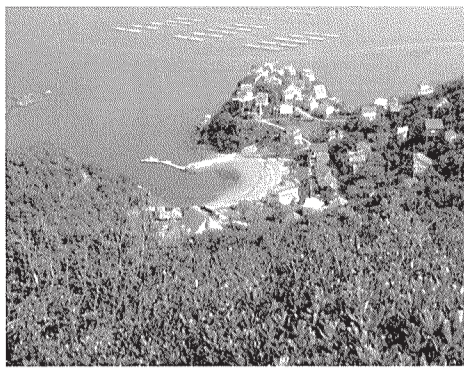
第20号

-2011-

中央地区
自治会
広報委員会

ごあいさつ

中央地区別荘自治会長 長瀬直



■鴻島の島山 頂上よりの風景

新緑のまぶしい季節となりました。

会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。又、日頃より自治会運営にご協力賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて先日、恒例の中央地区別荘自治会の定時総会が5月3日(祝)に無事開催されました事をご報告申し上げます。

席上、役員全員の留任となり、会長を引き受ける事となりました。今期も役員、会員の皆様のご協力を賜り、少しでも環境の良くなる方向へと努めて参る所存です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

総会報告

第20回鴻島中央地区別荘自治会定時総会が、5月3日(祝)に日生小学校鴻島分校講堂において開催されました。

出席者、委任状を頂いた方々で105名となり(85%)総会は無事成立致しました。総会は22年度の会計報告より始まり、会計担当の森氏より報告、会計監査の樽家氏よりの監査報告、役員留任後、23年度予算の審議に入り、参加者多数の賛成を得て、決定となりました。

その後、備前市より4月1日より実施されているゴミの収集

方法の指導についての説明となり、色々議論となりました。次に放置自動車の対策についてとなりました。

会議終了後、出席者の楽しみとして大懇親会が、今年も盛大に開催されました。今回は民宿たこぼさんに依頼した弁当を肴にソフトドリンク、ビール、ワイン、日本酒、等で親しく語り合い、意気投合するなど各テーブルで盛り上がり過ぎていましたが、楽しい時間も過ぎて行き、会員同士来年の再会を約束して中メめとなり皆様三々五々に帰られました。

事務局よりお知らせ

備前市日生町では4月1日よりゴミの分別収集が一段ときびしくなり、指示通りになつていないゴミについては持ち帰らないのて出さないで下さい。強くルールを守るように指示伝達がありました。

今までは、鴻島町内会と中央地区別荘自治会とが、同じゴミ収集箱に入れており、ルールを守

ゴミの収集日

生ゴミ等燃えるものについては毎週火曜日です。(これは必ず町販売の燃えるもの指定袋に入れて下さい。)たこぼで販売してくれま

燃えないもの、資源回収ゴミ、等は月一回です。リサイクル家電は絶対に持ち帰りませんで出さないで下さい。

燃えないゴミ袋に入らない大きな物は全て大型ゴミとなり町よりのシールを買って貼り、町に引取日を聞いて出して下さい。

又、資源回収ゴミ(ペットボトルダンボール、アルミ缶)はキレイに洗いラベル、フタを取り透明の袋に入れる。ダンボールの汚れたものは燃えるゴミとなります。

★会員でない人に
申し上げます。

自治会活動は会員の負担で行われています。別荘地も24年たち道路の補修や溝掃除も会費でまかなっています。持主が売買によって替わった場合や知らない会員外の人たちは何も負担していません。道路や溝や車の撤去や水道の破損も全て会員たちの負担なのです。折角手に入れた別荘も公共性は高いのです。皆様相応の負担をするのが社会のルールだと思ひます。島を利用するにはぜひ、会員になつて頂きたいと思ひます。ご近所持主が替わった方にはぜひ説明してください。

★車両放置は絶対にやめて下さい。

今総会では車両の撤去が議題となりました。誰のものか分からない放置車両が通行の障害となつている所も多々あるのです。そこである会員より、鴻島内に持ち込む車両には全て陸運局に届け出てナンバープレートをつける様意見が出されました。(当然保険にも加入する)

そうすれば持ち主も特定する事が出来るし、万が一事故が発生しても、安心出来るのです。そこで総会の結論として、次の総会までに島に車を持ち込んでいる会員の方はナンバー、保険を付ける努力をするという事に決まりました。車を持ち込んでいる会員様よろしくお願ひ致します。

そして今期は車両撤去を町内会、大林自治会と調整を計りながら行う予定です。

★火事の予防のお願い

鴻島では過去24年間に7回の火事が起こっています。特に強風が急に吹く事もあり、ゴミや落葉等のたき火は絶対しない様に気を付けて下さい。お互いに注意しましょう。

おねがい

別荘を売却された方は次の購入者の氏名、住所を事務局大里までご連絡ください。

市に問い合わせても個人情報守秘義務等の理由により、情報を得ることができません。ご協力の程、宜しくお願いします。

連絡先：〒662-0828 西宮市門戸西町9-38 TEL：0798-53-2454 大里二郎(事務局)

役員名簿(平成23年度)

(会長)長瀬直

(副会長)樽家紀之・森田考

(会計)森啓充

(監査)寺浦格樽家紀之

(事務局)〇七九八(五三)二四五四

大里二郎

(理事)(再任)桑原高己

浅島俊男・米田稔・西野健一

黒岩功・六田伸彦・森田七男

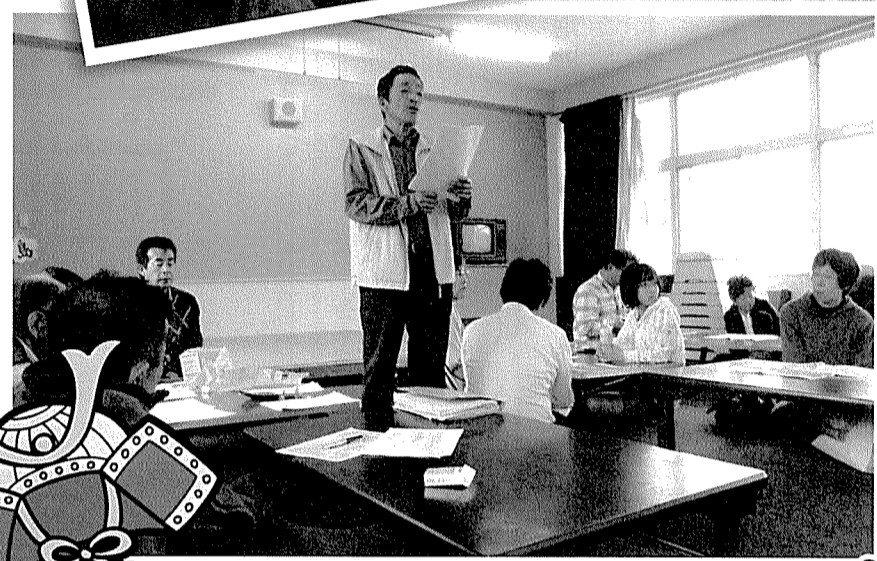
高橋健造

(順不同)

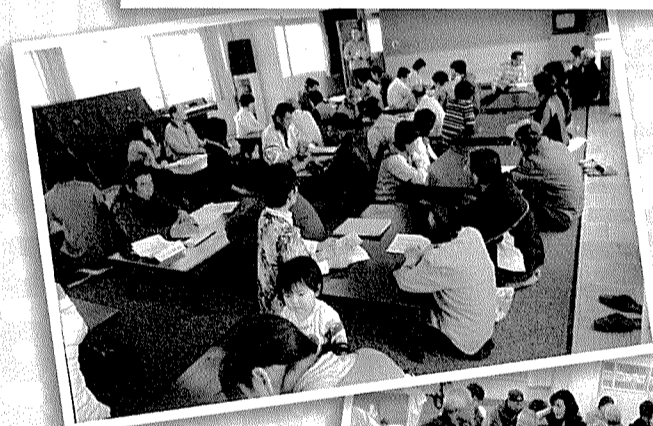
会計報告 削除

盛り上がる
23年度
総会風景

白熱した会議!!



楽しい懇親会



3月19日 役員会



たこつぽにて!

文化財探訪 ~訪ねてみよう、郷土の文化財~

医王山東麓の窯跡

平成23年2月、伊部西大窯跡の近くで備前焼草創期(平安時代の終わりごろ)の窯跡を発見し、現地説明会では120人を超すみなさんが見学されました。

この窯跡の場所は、医王山の東山麓で、標高が約80mの山中にあります。斜面に対して垂直方向に向かって溝を掘り、土でアーチ状の天井をかけた「窰めながま」と呼ばれる窯です。全長は11m、幅は2m、床の傾斜は約22度でした。煙出しの近くまで登ると、立っているのがやっとといった感じで、掘るのも大変でした。



窰の上部では小さなお皿が6枚重なったまま、甕の破片の上に乗った状態で見つかりました。おそらく、窰詰めしたものの、焼きあがったときに取り忘れたのではないのでしょうか。当時の窰詰めの様子が垣間見える貴重な発見です。

写真を見ていただくと、「キ」の字状に土手が残っていることに気がつくと思います。これは、窰を使用していた時にあったものではありません。窰は使わなくなった後、天井が崩れ、内部にも土砂が溜まります。発掘調査をする上で、この窰がどのように埋まったのかということは貴重な情報になります。その様子を観察するために、こういう形で土手を残しました。

現在は、見つかった『やきもの』について、4月にオープンした埋蔵文化財管理センター(伊部974-3、☎92-4300)で調査を進めています。お椀や皿といった小さな食器が多いようですが、甕やこね鉢などの破片や、かなりの大きさの瓦もたくさん見つかりました。瓦は当時の役所かお寺に葺かれたものだと思いますが、実際に葺かれた建物はわかりません。今後、調査を進めていくと新たな発見もあると思います。そのときには、またご報告したいと考えていますので、ご期待ください。

文化財に関する問い合わせ先 教育委員会生涯学習課文化係(☎64-1841)